

令和6年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 福島県
農業委員会名： 天栄村農業委員会

I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5 年 7 月 20 日

任期満了年月日 令和8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	9	9
認定農業者	－	3
認定農業者に準ずる者	－	0
女性	－	1
40代以下	－	0
中立委員	－	5

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	9	9	9

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	513
農業経営体数	511

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	422
女性	0
40代以下	0

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	146
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	6
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,020	178	178	0	0	1,200

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	1,200 ha	613 ha	51.0 %
課題	中・小規模農家、兼業農家が大多数をしめており、高齢化や米価の下落、機械更新など営農継続困難な状況が続いている。本村は中山間地であり、平場が整備されている地域では集積が進んでいるが山間部での集積が課題である。		

- ※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入
※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう
※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和 11 年度	集積率	70 %
今年度の新規集積面積	37 ha	農地面積(C)	1,200 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	650 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	54.2 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	7.9 ha	4.4 ha	3.5 ha
課題	人口減少、高齢化、後継者の離農等による遊休農地の増加が懸念され、再生可能な農地と再生不可能な農地を明確化し、遊休農地の減少・削減に向けて推進していく。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	2.9 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	地権者へ各地区推進委員が連絡し、農地を復元するのか非農地とするのか回答いただき、意向に合った手続きを推進する。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	4 ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和3年度新規参入者		令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者	
	1	経営体	0	経営体	1	経営体
	0.15	ha	0	ha	1	ha
課題	実家が農家の方が、退職し地元で新規就農されたケースが多いため、移住者等の新規参入者が地域に馴染めるかが課題。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均	
	86	ha	79	ha	54	ha	73	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			7.3		ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6	日／月	最適化活動を行う 農業委員の人数	9	人
			農地利用最適化推進委員の 人数	9	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月	③	畑作を中心に農業員会が仲介し、新規参入者と地権者をマッチングさせ、遊休農地の削減・解消につなげる。
11月	②	農地利用状況調査や毎月の農地見回りにより、遊休農地のあっせんや耕作放棄地になる前に対策を行う。また、遊休化してしまっている農地については、各地区農地利用最適化推進委員が、地権者へ再度意向の把握を行う。
2月	①	基盤整備されている田・畑を中心に大規模農家へ集積を行い、入り作、地域での共同管理など、個人経営だけでなく共同経営、法人化に向けて推進する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1	回
---------------	---	---

開催時期	令和6年11月	相談会名	ふくしま農業人フェア
参加者数	1	開催場所	郡山市ビックパレット
相談会の内容	雇用就農や自営就農など農業の多様な担い手を確保するために開催され、農業者や各地位の行政機関、就農支援団体等と個別相談を行う。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)